

## 滋賀県内企業動向調査

### ～16年10-12月期の実績見込みと17年1-3月期の見通し～

# 景況感は製造業で改善も全体では横ばい

㈱滋賀銀行のシンクタンクである ㈱しがぎん経済文化センター（大津市、取締役社長 中川 浩）では、県内企業の景況感を調査するために「滋賀県内企業動向調査」を四半期ごとに実施しています。このほど2016年10-12月期分の調査結果をまとめましたので、公表いたします。

#### 【調査の概要】

- ・調査名：滋賀県内企業動向調査（2016年10-12月期）
- ・調査時期：2016年11月7日～22日
- ・調査方法：郵送による配布、回収
- ・調査対象先：滋賀県内に本社を置く企業および県外からの進出企業 939社
- ・回答数：332社（有効回答率 35%）うち製造業 151社、非製造業 181社
- ・分析手法：D I（ディフュージョン・インデックス）  
＝「かなり良い」と「やや良い」の回答割合から、  
「かなり悪い」と「やや悪い」の回答割合を引いた指数を採用

#### 【調査結果の要旨】

##### 1. 現在の業況判断（P 2～4）

- ・今回の調査（16年10-12月期）での自社の業況判断D Iは前回（7-9月期）の-15から2ポイント改善の-13となり、マイナス幅は小幅縮小も、依然マイナス水準にある。
- ・消費増税が実施された14年4-6月期以降、11四半期連続で「悪い」が「良い」を上回るマイナス水準であり、依然厳しい状況が続いている。
- ・製造業は、前回の-18から9ポイント改善の-9となった。紙・パルプ（-17→+40）、化学（-11→+27）、窯業・土石（-10→+25）、金属製品（-17→+13）はマイナス水準からプラス水準に回復した。一方、電気機械（+21→0）はプラス水準からもちあいに低下、その他の製造業（+19→-3）はプラス水準からマイナス水準に低下した。木材・木製品（-46→-29）、一般機械（-36→-13）などはマイナス幅が縮小した。
- ・一方、非製造業は、前回の-13から3ポイント悪化し-16となった。建設（-14→0）、運輸・通信（-19→0）はマイナス水準からもちあいに回復。卸売（-21→-53）は、マイナス幅が大幅に拡大、小売（-29→-29）とともに4四半期連続でマイナス水準と低迷している。不動産（+8→-7）、サービス（+5→-3）、その他の非製造業（+17→-40）はプラス水準からマイナス水準に悪化した。

##### 2. その他の判断項目（P 4～7）

- ・売上D I（前回：-13→今回：-13）は前回と同水準であった。製造業は-11から-13に低下し、非製造業は-14から-14と前回と同水準となった。全体では9四半期連続でマイナス水準（「減少」超過）が続いている。
- ・経常利益D I（-14→-10）は4ポイント改善するも、11四半期連続でマイナス水準。
- ・製・商品の在庫D I（+7→+10）は前回から3ポイント上昇、製造業（+13→+14）はほぼ横ばいも、非製造業（+1→+8）は過大感が大幅に強まった。
- ・販売価格D I（-8→-6）は2ポイント上昇した。
- ・仕入価格D I（+2→+5）は3ポイント上昇した。
- ・生産・営業用設備D I（-3→-3）は、前回と同水準となった。
- ・雇用人員D I（-21→-22）は、18四半期連続のマイナス水準で人手不足が続いている。

##### 3. 設備投資の実施状況（P 8・9）

- ・設備投資を実施した（する）企業の割合は46%で、前回（45%）から1ポイント上昇も、3四半期連続で5割を割り込む。
- ・主な内容（複数回答）は、「生産・営業用設備の更新」（43%）が最多。次いで「車両の購入」（32%）、「生産・営業用設備の新規導入」「OA機器の購入」（ともに22%）。

【お問い合わせ先】 ㈱しがぎん経済文化センター 産業・市場調査部 北村（TEL：077-523-2245）

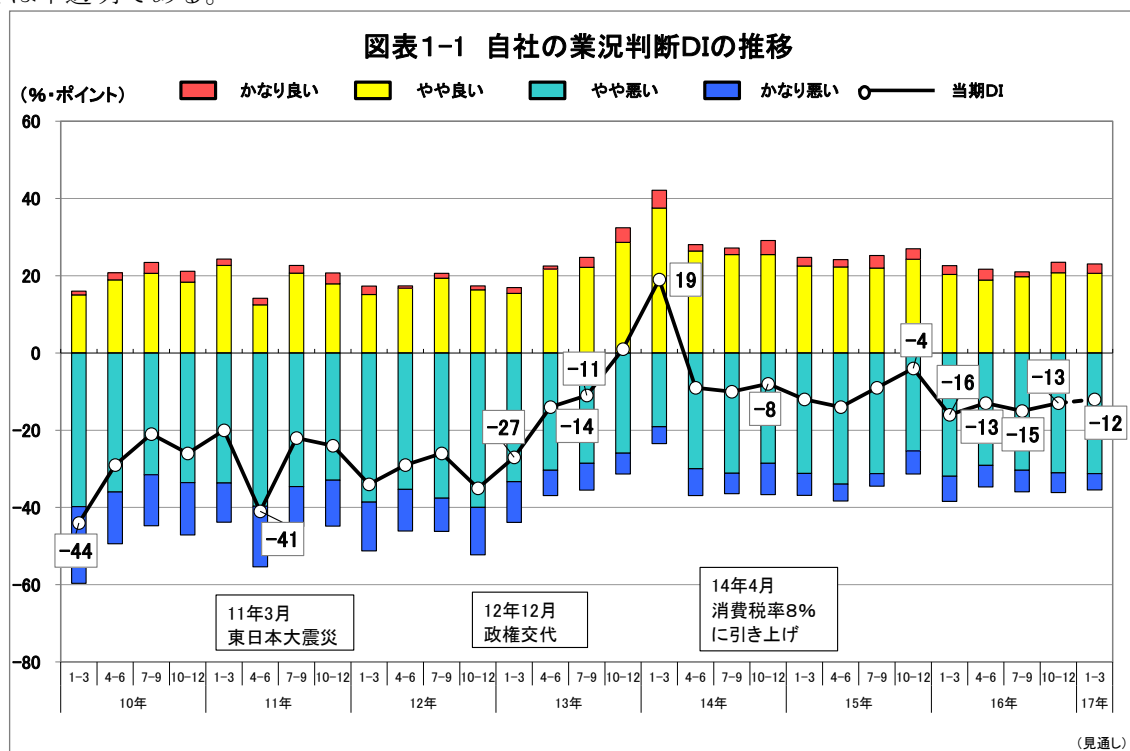
## 1. 自社の業況判断

### (1) 自社の業況判断DI…製造業で改善も非製造業は悪化、全体ではほぼ横ばいで11四半期連続のマイナス水準

#### 1. 全体の動向 (図1-1)

今回の調査(16年10-12月期)での自社の業況判断DIは前回(7-9月期)の-15から2ポイント改善の-13となり、マイナス幅が縮小した。消費増税が実施された14年4-6月期以降、11四半期連続で「悪い」と答えた企業の割合が「良い」を上回った。

3カ月後(17年1-3月期)は1ポイントの小幅改善、-12となる見通しで、依然先行きは不透明である。



#### 2. 業種別の動向 (図1-2、表1)

業種別にみると、製造業は、前回の-18から9ポイント改善の-9となった。紙・パルプ(-17→+40)、化学(-11→+27)、窯業・土石(-10→+25)、金属製品(-17→+13)はマイナス水準からプラス水準に回復した。一方、過去2四半期連続でプラス水準の電気機械(+21→0)はもちあいに低下、その他の製造業(+19→-3)はプラス水準からマイナス水準に低下した。木材・木製品(-46→-29)、一般機械(-36→-13)、輸送用機械(-63→-14)、精密機械(-100→-25)などはマイナス幅が縮小した。3カ月後の製造業全体は、4ポイント改善の-5となる見通しである。

非製造業は、前回の-13から3ポイント悪化し-16となった。建設(-14→0)、運輸・通信(-19→0)はマイナス水準からもちあいに回復。卸売(-21→-53)は、マイナス幅が大幅に拡大、小売(-29→-29)とともに4四半期連続でマイナス水準と低迷している。不動産(+8→-7)、サービス(+5→-3)、その他の非製造業(+17→-40)はプラス水準からマイナス水準に悪化した。3カ月後は、現在から2ポイント低下の-18となる見通しである。

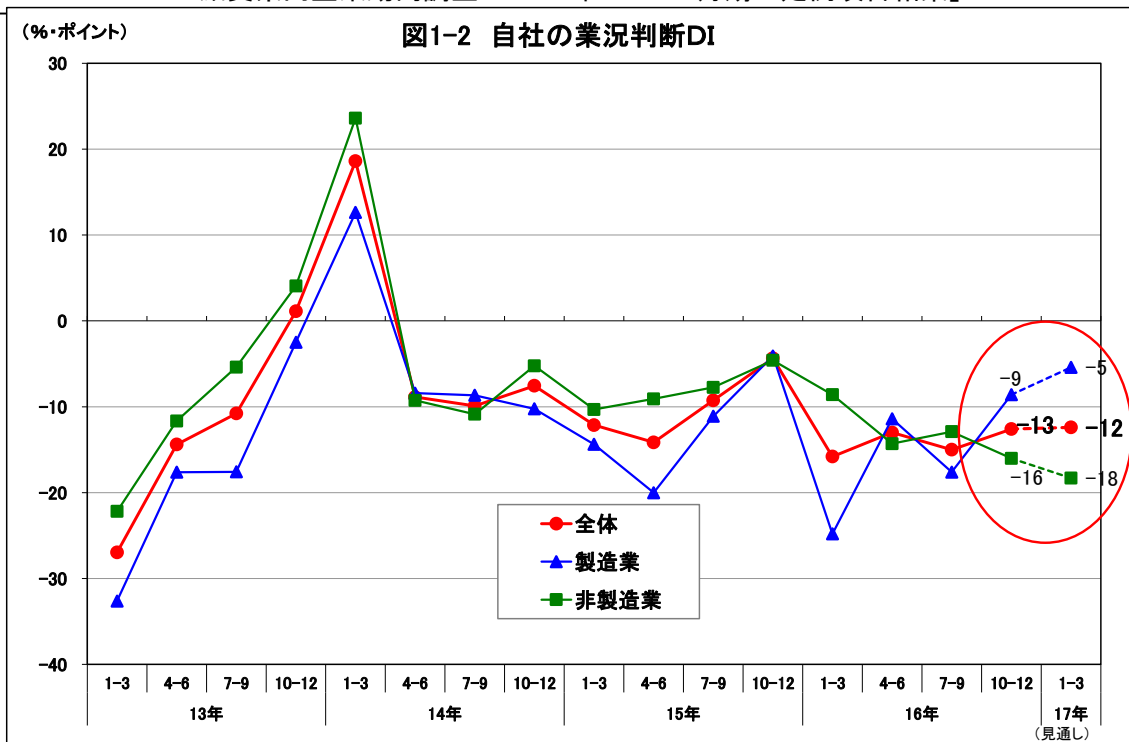


表1 自社の業況判断DI(業種別)

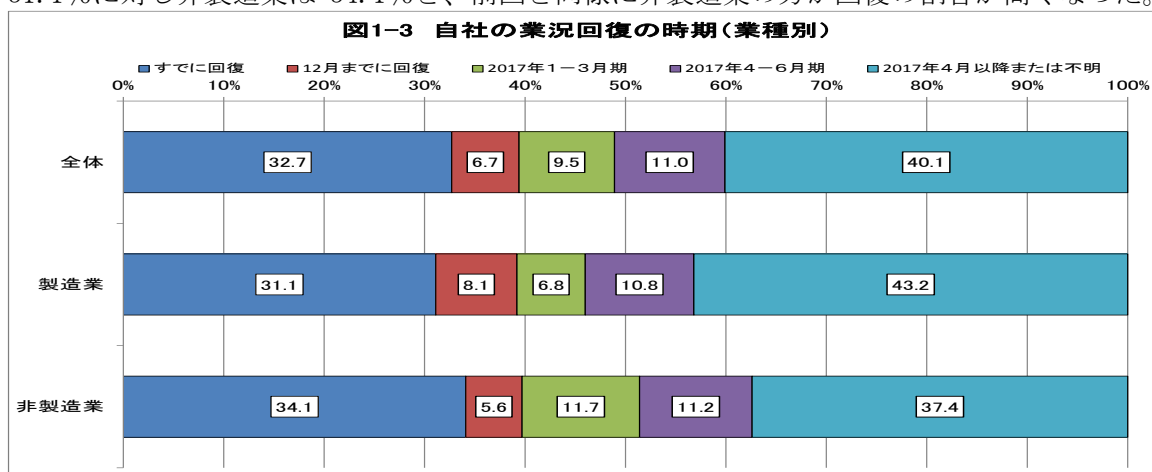
業種(※1)	今回の回答社数	16年7-9月期 前回	16年10-12月期 今回(※2)	17年1-3月期 見通し
<b>全体</b>	<b>332</b>	<b>-15</b>	<b>-13</b> ( <b>-13</b> )	<b>-12</b>
<b>製造業</b>	<b>151</b>	<b>-18</b>	<b>-9</b> ( <b>-10</b> )	<b>-5</b>
繊維	20	-30	-35 ( -31 )	-15
木材・木製品	7	-46	-29 ( -9 )	-14
紙・パルプ	5	-17	40 ( 33 )	20
化学	11	-11	27 ( -11 )	9
石油・石炭	×	×	×	×
窯業・土石	4	-10	25 ( -30 )	25
鉄鋼	×	×	×	×
非鉄金属	×	×	×	×
食料品	12	-40	-42 ( 0 )	-17
金属製品	16	-17	13 ( -17 )	-20
一般機械	16	-36	-13 ( -7 )	6
電気機械	11	21	0 ( 0 )	-9
輸送用機械	7	-63	-14 ( -75 )	0
精密機械	4	-100	-25 ( -50 )	-75
その他の製造業	31	19	-3 ( 14 )	0
<b>非製造業</b>	<b>181</b>	<b>-13</b>	<b>-16</b> ( <b>-15</b> )	<b>-18</b>
建設	63	-14	0 ( -13 )	-6
不動産	15	8	-7 ( 9 )	-33
卸売	36	-21	-53 ( -27 )	-45
小売	21	-29	-29 ( -38 )	-33
運輸・通信	12	-19	0 ( -6 )	25
電気・ガス	×	×	×	×
サービス	29	5	-3 ( 3 )	-10
リース	×	×	×	×
その他の非製造業	5	17	-40 ( 17 )	-20

(※1) 回答数が3社以下の業種は非表示(×)

(※2) ( )内の数値は前回調査時点での10-12月期の見通し

(2) 自社の業況回復の時期…「すでに回復」は約3割(図1-3)

自社の業況回復の時期については、「すでに回復(好調維持を含む)」した企業の割合は32.7%と約3割になり、「12月までに回復」(6.7%)を合わせると39.4%と約4割に上った。一方で半年以上先の「17年7月以降(不明を含む)」も約4割(40.1%)を占め、一部では業績不振が続くとみられる。業種別では、「すでに回復」した企業の割合は、製造業の31.1%に対し非製造業は34.1%と、前回と同様に非製造業の方が回復の割合が高くなった。



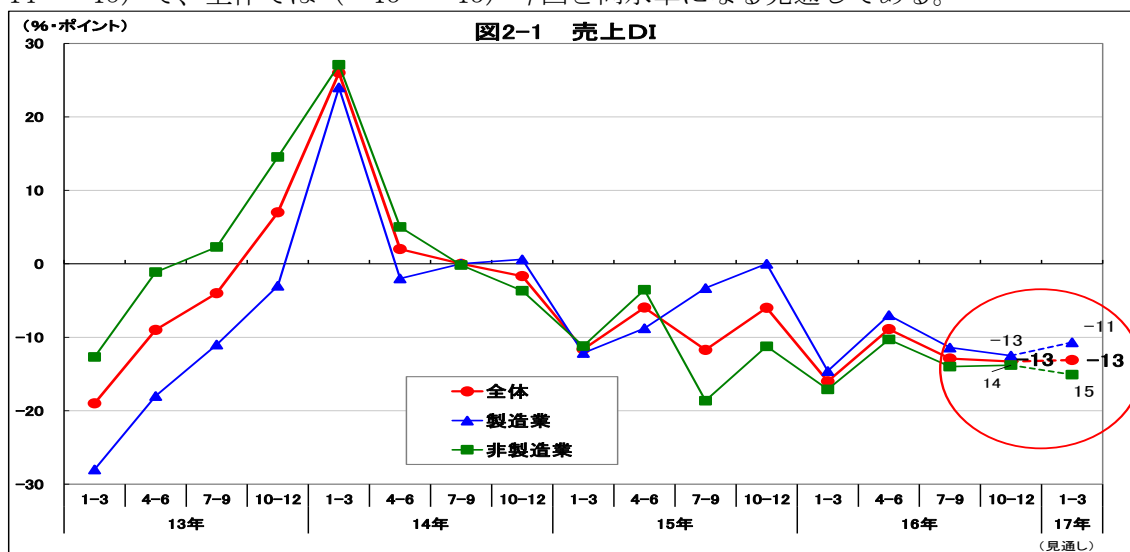
2. その他の判断項目

(1) 売上DI…前回と同水準で、9四半期連続でマイナス水準(図2-1)

現在の売上DI(「増加」と回答した企業の割合から「減少」と回答した企業の割合を引いた値)は-13で、前回の-13と同水準となり、全体では9四半期連続でマイナス水準(「減少」超過)が続いている。

業種別では、製造業は-11から-13に2ポイント低下。電気機械(+22→+9)は低下もプラス水準を維持、紙・パルプ(+17→+20)もプラス水準を維持。窯業・土石(-20→+25)、金属製品(-11→+13)は、マイナス水準からプラス水準に回復。木材・木製品(-36→0)、はマイナス水準からもちあいに回復した。化学(-33→-18)、一般機械(-50→-31)、精密機械(-75→-25)はマイナス幅が減少。繊維(-9→-20)、食料品(-27→-42)などはマイナス幅が拡大した。非製造業は(-14→-14)と前回と同水準となった。建設(-12→+10)、運輸・通信(-6→+17)はマイナス水準からプラス水準に回復するも、不動産(+8→-20)はプラス水準からマイナス水準に悪化。卸売(-38→-44)、小売(-21→-33)などはマイナス幅が拡大した。

3カ月後は、製造業は2ポイント改善(-13→-11)、非製造業は1ポイント低下(-14→-15)で、全体では(-13→-13)今回と同水準になる見通しである。

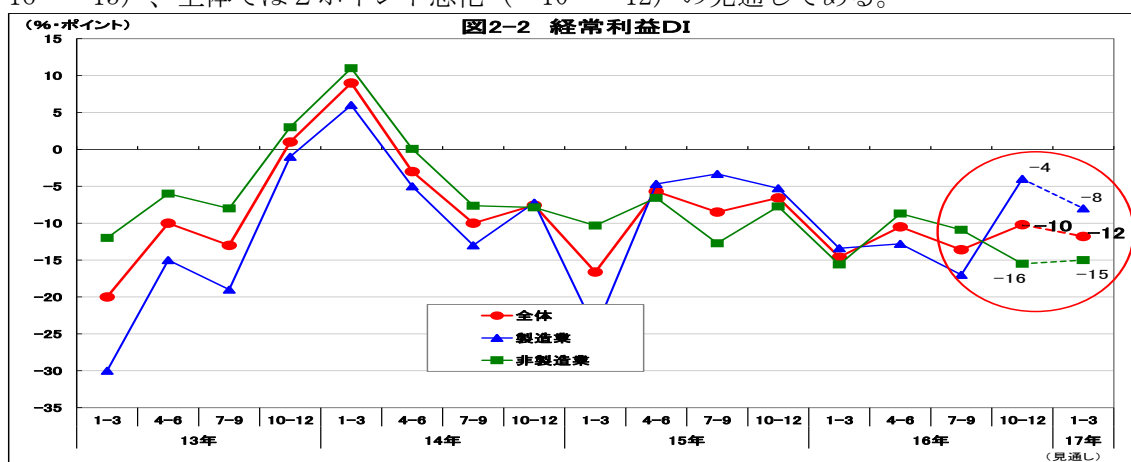


## (2) 経常利益DI…マイナス幅縮小も、11 四半期連続のマイナス水準(図 2-2)

現在の経常利益DI（「増加」と回答した企業の割合から「減少」と回答した企業の割合を引いた値）は-10で、前回の-14から4ポイント改善するも、11 四半期連続でマイナス水準になった。

業種別にみると、製造業は-17から13ポイント改善し-4となった。紙・パルプ（+17→+100）、窯業・土石（+20→+25）はプラス水準を維持。食料品（-13→+8）、金属製品（-11→+6）はマイナス水準からプラス水準に回復、木材・木製品（-55→0）、一般機械（-43→0）がマイナス水準からもちあいに回復。化学（-45→-9）、輸送用機械（-25→-14）などはマイナス幅が縮小した。繊維（-13→-20）、電気機械（-14→-18）などはマイナス幅が拡大した。非製造業は5ポイント低下（-11→-16）した。建設（-18→+2）はマイナス水準からプラス水準に回復するも、運輸・通信（+6→-17）、サービス（+5→-7）はプラス水準からマイナス水準に低下。卸売（-22→-33）、小売（-14→-38）、その他非製造業（-17→-40）はマイナス幅が拡大した。

3カ月後は、製造業は4ポイント低下（-4→-8）、非製造業は1ポイント改善（-16→-15）、全体では2ポイント悪化（-10→-12）の見通しである。

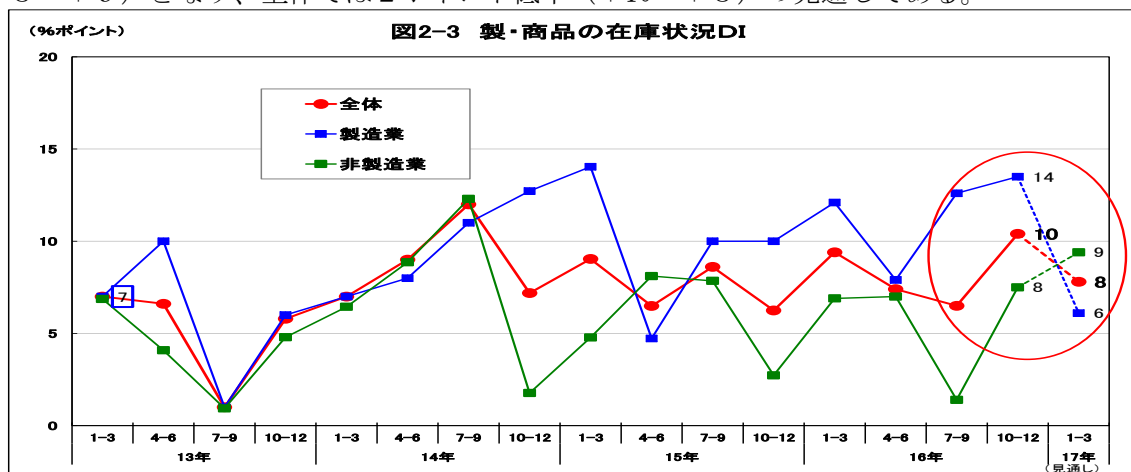


## (3) 製・商品の在庫状況DI…過大感やや増加(図 2-3)

現在の製・商品の在庫状況DI（「過大」と回答した企業の割合から「不足」と回答した企業の割合を引いた値）は+10で、前回の+7から3ポイント上昇した。

業種別にみると、製造業は1ポイント上昇（+13→+14）した。木材・木製品（-9→+14）、紙・パルプ（+17→+60）、精密機械（0→+25）などで過大感が増加。食料品（+7→0）、電気機械（+7→0）、輸送用機械（+13→0）などがもちあいに低下し、窯業・土石（+10→-25）は不足感に転じた。非製造業は7ポイント上昇（+1→+8）した。不動産（0→-14）、運輸・通信（-8→-13）などが低下し、小売（0→+33）などが上昇した。

3カ月後は、製造業は8ポイント低下（+14→+6）、非製造業は1ポイント上昇（+8→+9）となり、全体では2ポイント低下（+10→+8）の見通しである。

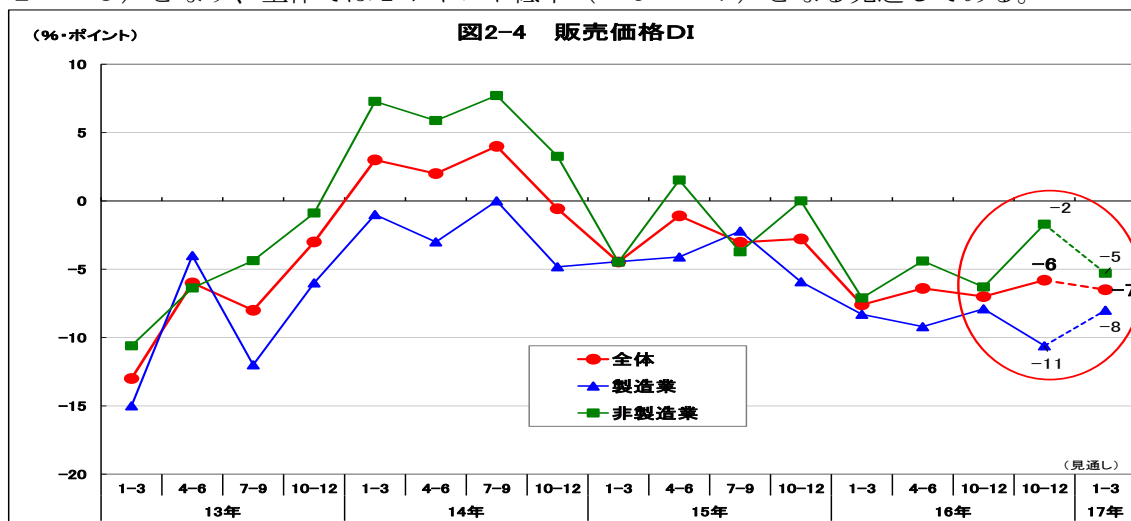


#### (4) 販売価格DI…マイナス幅やや縮小(図2-4)

現在の販売価格DI(「上昇」と回答した企業の割合から「下落」と回答した企業の割合を引いた値)は、-6で前回の-8から2ポイント上昇した。

業種別にみると、製造業は1ポイント低下(-10→-11)した。食料品(0→-8)はもちあいからマイナス水準に低下も、繊維(-4→0)、木材・木製品(-9→0)、窯業・土石(-20→0)はマイナス水準からもちあいに回復。化学(-33→-18)などでマイナス幅が縮小した。非製造業は5ポイント上昇(-7→-2)でマイナス幅が縮小した。不動産(0→+15)、卸売(-16→+8)などで上昇。小売(-2→-5)、サービス(-6→-10)などで低下した。

3カ月後は、製造業が3ポイント上昇(-11→-8)、非製造業は3ポイント低下(-2→-5)となり、全体では1ポイント低下(-6→-7)となる見通しである。

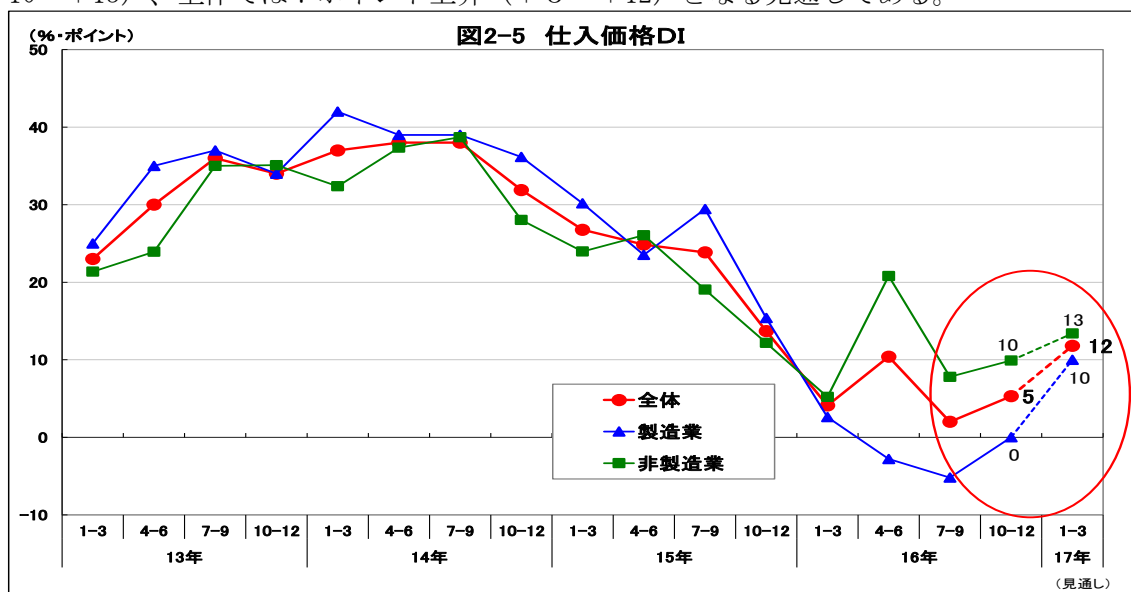


#### (5) 仕入価格DI…製造業、非製造業とも上昇(図2-5)

現在の仕入価格DI(「上昇」と回答した企業の割合から「下落」と回答した企業の割合を引いた値)は+5で、前回の+2から3ポイント上昇した。

業種別にみると、製造業は5ポイント上昇(-5→0)しもちあいになった。繊維(-9→+10)、食料品(+7→+25)、輸送用機械(-13→0)、その他の製造業(-3→+10)などは上昇も、紙・パルプ(0→-20)などが低下した。非製造業は2ポイント上昇(+8→+10)した。建設(+4→0)、不動産(+40→+23)は低下も、卸売(+8→+11)、小売(+9→+19)、運輸・通信(0→+30)などは上昇した。

3カ月後は、製造業は10ポイント上昇(0→+10)、非製造業は3ポイント上昇(+10→+13)、全体では7ポイント上昇(+5→+12)となる見通しである。

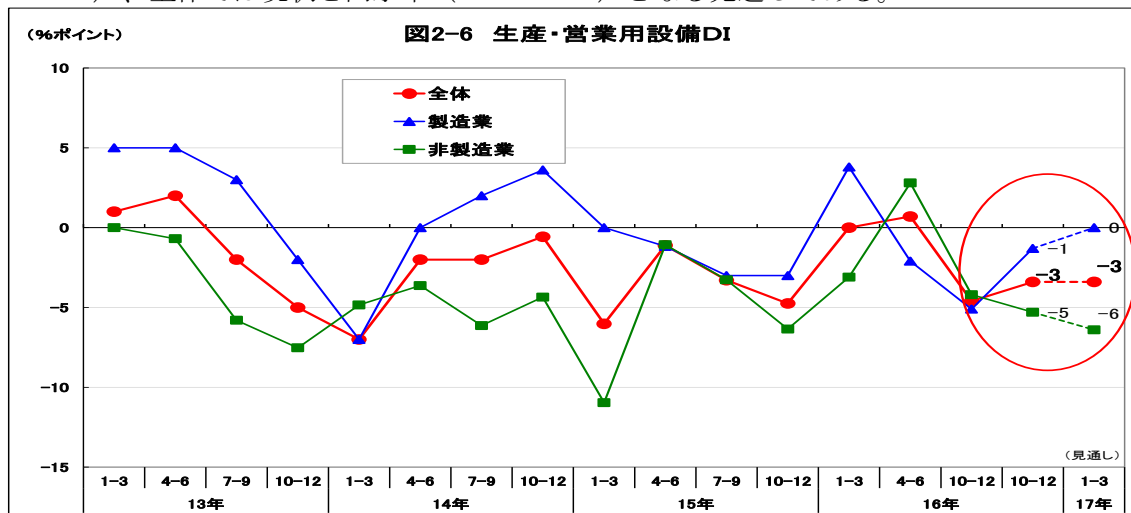


**(6) 生産・営業用設備DI…2四半期連続マイナス水準(図2-6)**

現在の生産・営業用設備DI(「過剰」と回答した企業の割合から「不足」と回答した企業の割合を引いた値)は、-3と前回と同水準となり、2四半期連続でマイナス水準になった。

業種別にみると、製造業は1ポイント上昇(-2→-1)した。繊維(+4→+15)は過剰感が拡大、その他の製造業(-11→+10)などが上昇し過剰感が強くなった。一方、木材・木製品(+9→0)は過剰感からもちあいに、紙・パルプ(+17→-20)、輸送用機械(-13→-29)などは低下し、不足感が強まった。非製造業は1ポイント低下(-4→-5)した。不動産(-18→0)はもちあいに上昇するも、建設(0→-5)、小売(-7→-10)などで、不足感が強まった。

3カ月後は、製造業は1ポイント上昇(-1→0)、非製造業は1ポイント低下(-5→-6)、全体では現状と同水準(-3→-3)となる見通しである。

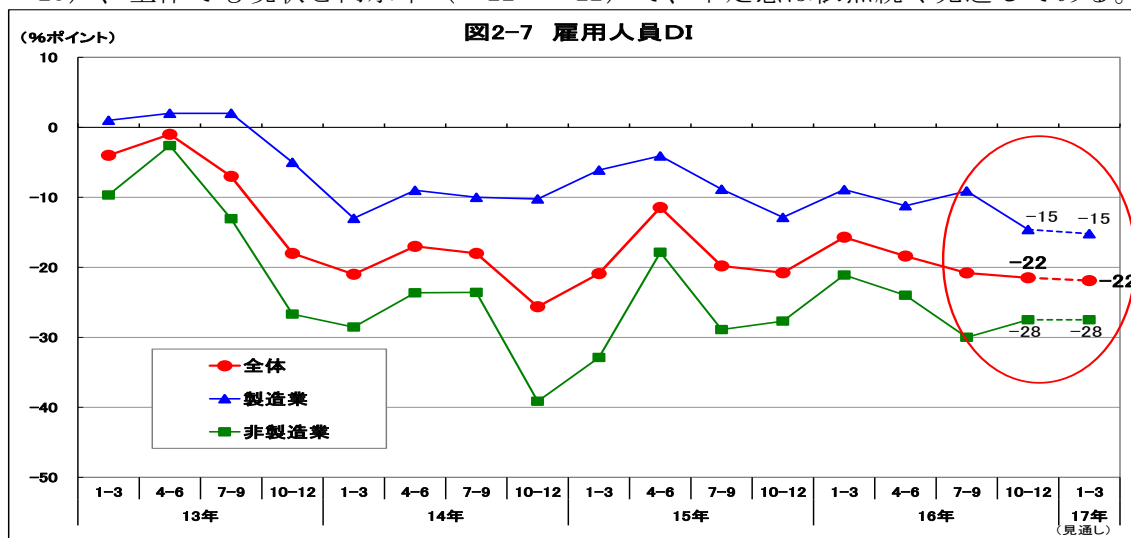


**(7) 雇用人員DI…不足感やや強まる(図2-7)**

現在の雇用人員DI(「過剰」と回答した企業の割合から「不足」と回答した企業の割合を引いた値)は-22と前回の-21から1ポイント低下。12年7-9月期から18四半期連続でマイナス水準(人手不足)となり、厳しい状況が続いている。

業種別にみると、製造業は6ポイント低下(-9→-15)。木材・木製品(0→-29)がもちあいから大幅マイナスに、化学(+11→0)、窯業・土石(+10→0)、一般機械(+21→-6)などは過剰感が弱まった。非製造業は2ポイント上昇(-30→-28)した。運輸・通信(-31→-18)、その他の非製造業(-33→-20)などは低下し不足感が弱まるも、不動産(0→-14)、卸売(0→-8)などは不足感が強まった。

3カ月後は、製造業は現状と同水準(-15→-15)、非製造業も現状と同水準(-28→-28)、全体でも現状と同水準(-22→-22)で、不足感は依然続く見通しである。



### 3. 設備投資の実施状況

#### (1)設備投資の実施割合…3四半期連続で5割割れ(図3-1、表2)

今期(10-12月期)に設備投資を実施した(する)企業の割合は46%だった。3四半期連続で50%を下回った。

業種別にみると、製造業は50%で、前回(49%)から1ポイント上昇。うち木材・木製品(18%→43%)、紙・パルプ(33%→40%)、窯業・土石(80%→100%)、一般機械(50%→56%)、電気機械(36%→46%)、輸送用機械(75%→86%)などで増加。繊維(44%→40%)、化学(56%→55%)、食料品(53%→50%)、精密機械(50%→25%)などが減少した。非製造業は44%(前回41%から3ポイント増加)で、不動産(17%→40%)、小売(33%→41%)、運輸・通信(56%→67%)、サービス(55%→61%)などが増加。卸売(46%→40%)、その他の非製造業(50%→20%)などが減少した。

3カ月後の設備投資実施予定の割合は、製造業が43%、非製造業が36%で全体では39%と、やや減少する見通しである。

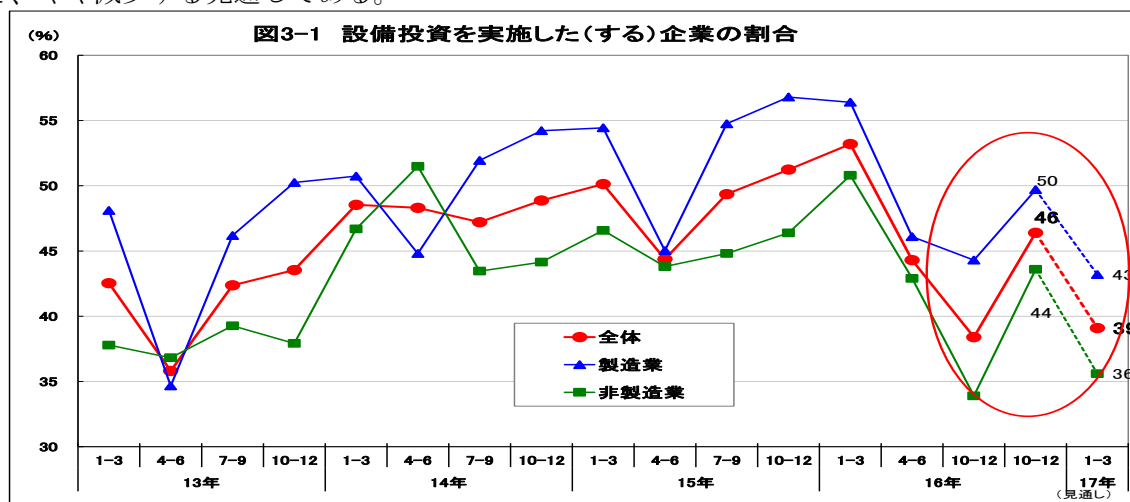


表2 設備投資を実施した(する)の企業の割合(業種別詳細) (%)

業種(※)	16年 7-9月期 前回	16年 10-12月期 今回	17年 1-3月期 見通し
<b>全体</b>	<b>45</b>	<b>46</b>	<b>39</b>
<b>製造業</b>	<b>49</b>	<b>50</b>	<b>43</b>
繊維	44	40	32
木材・木製品	18	43	29
紙・パルプ	33	40	75
化学	56	55	36
石油・石炭	×	×	×
窯業・土石	80	100	100
鉄鋼	×	×	×
非鉄金属	×	×	×
食料品	53	50	58
金属製品	61	56	20
一般機械	50	56	69
電気機械	36	46	22
輸送用機械	75	86	71
精密機械	50	25	0
その他の製造業	43	45	39
<b>非製造業</b>	<b>41</b>	<b>44</b>	<b>36</b>
建設	37	37	34
不動産	17	40	29
卸売	46	40	35
小売	33	41	27
運輸・通信	56	67	58
電気・ガス	×	×	×
サービス	55	61	46
リース	×	×	×
その他の非製造業	50	20	0

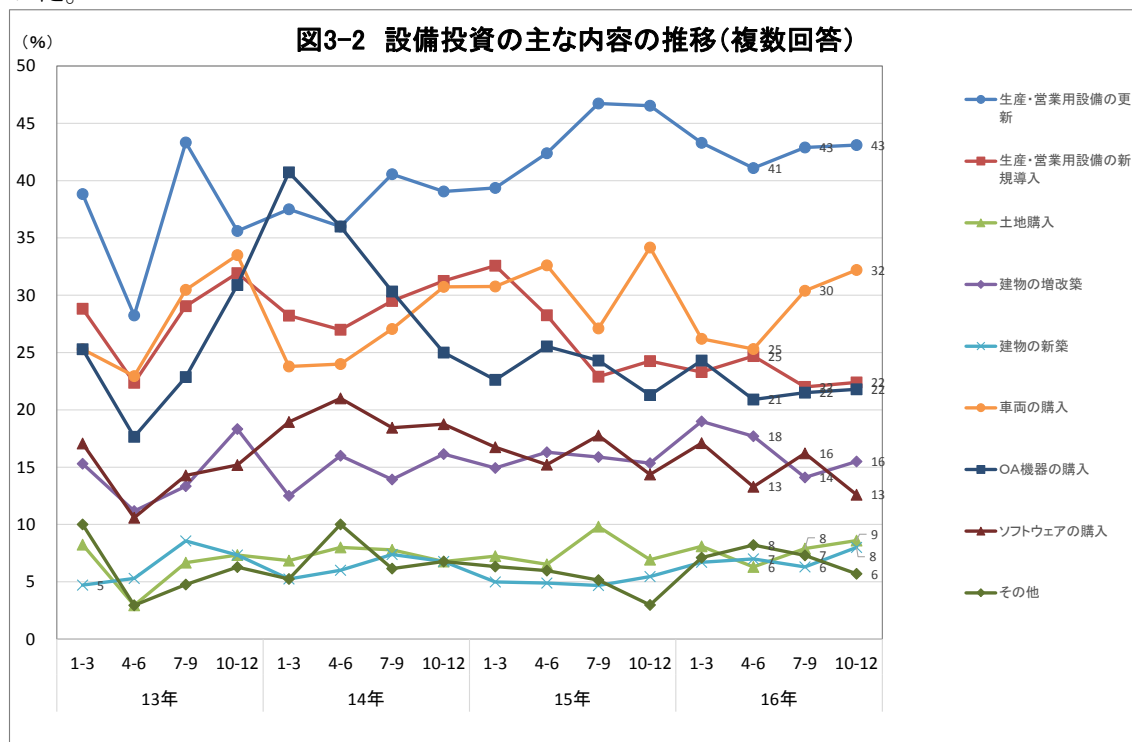
(※)回答数が3社以下の業種は非表示



(2)設備投資の主な内容…「生産・営業用設備の更新」が11四半期連続のトップ

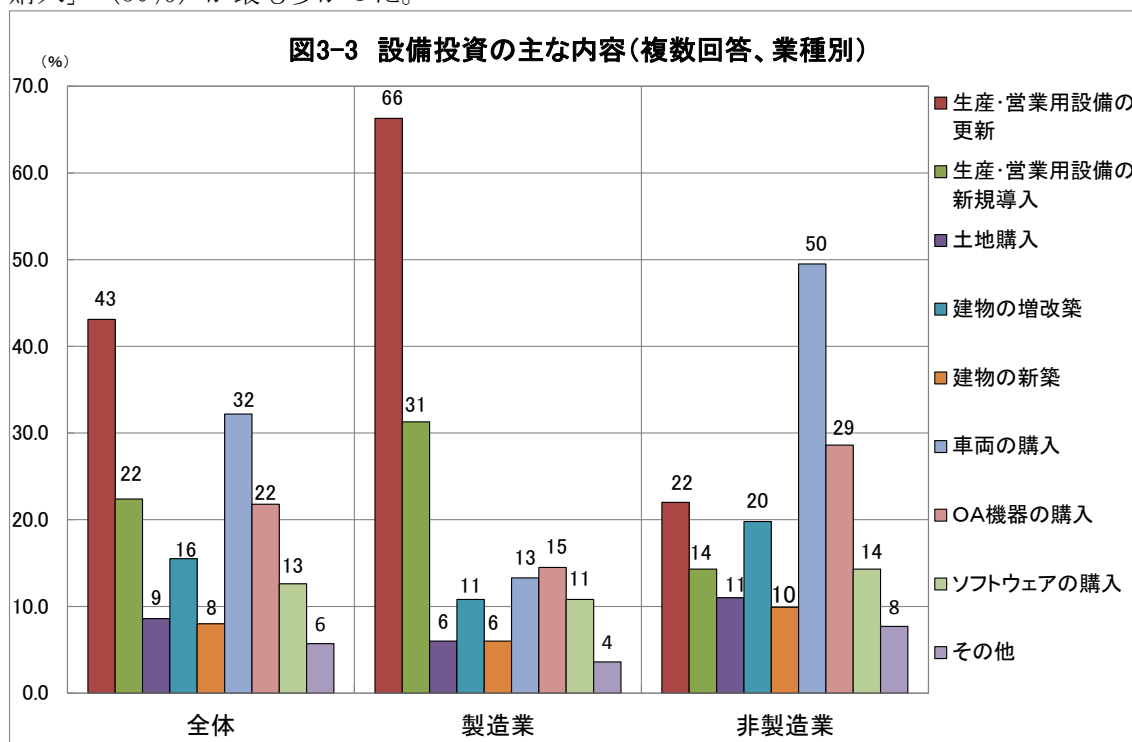
1. 全体の動向 (図3-2)

設備投資を実施した(する)企業のうち、設備投資の主な内容をみると(複数回答)、「生産・営業用設備の更新」(43%)が11四半期連続で最も多かった。次いで「車両の購入」(32%)、「生産・営業用設備の新規導入」「OA機器の購入」(ともに22%)と続いた。



2. 業種別の動向 (図3-3)

業種別にみると、製造業は「生産・営業用設備の更新」(66%)、非製造業は「車両の購入」(50%)が最も多かった。



【参考資料】

1. 現在の業況判断の根拠となる具体的な理由や背景（一部抜粋）

【製造業】

「良い」（かなり良い+やや良い）

業種	事象
繊維	・受注好調。
紙・パルプ	・受注増、要因は大口事案（スポット性高い）によるものであるが、主要顧客であるスキー場事業者の一部に投資マインドも見えはじめており、商況はやや改善のきざしあり。
化学	・特に何の影響かはわからないが、昨年同期と比較して受注が多い。 ・円高の影響で売上高、営業利益は減少したものの、金額的には高水準を維持している。 ・利益商品の販売が順調に伸びたため。
金属製品	・増収増益基調（全般的に）。 ・電力用部品半導体製造装置の売上が12%増加した。
一般機械	・営業・経常利益の増加。 ・売上対前年比+8.0%増加。
その他の製造業	・受注状況が9月までに比べ15%増加した。 ・売上が好調。 ・年末商戦、年始商戦の為、売上増（毎年の傾向通り）。 ・通年の動向であるが年末にかけての積み増し受注による増加。（年末=12月末と3月度の期末時期も含む） ・新規取引先の増加。 ・今年夏の猛暑の影響により国内での製品売上が40%伸びた。

「悪い」（かなり悪い+やや悪い）

業種	事象
繊維	・不況で売上20%ダウン。 ・暖冬の影響。 ・2016年11月に立ち上がる予定が2017年2月に遅れる商材がある為。
紙・パルプ	・印刷の需要減が要因の売上減。書籍離れによる販売減による。
化学	・原油安によりバージン原料によるプラスチック価格が低下し、再生プラスチックの販売価格の引き下げ要請が増加。
窯業・土石	・売上減少。
食料品	・海外からの輸入品の影響で単価の下落、販売減少にて売上減少。
金属製品	・自動車のモデルチェンジが少ないため、金型の受注が減少した。 ・自動車の生産が良くない。これからもアメリカの大統領選挙結果の影響で円高になり来年はもっと悪くなる。
一般機械	・売上減5%。
電気機械	・設備投資の引合が少ない。 ・先行きが不透明の為。
その他の製造業	・取引先（No.1）の取引がなくなり、売上が19%減少。

【非製造業】

「良い」 (かなり良い+やや良い)

業種	事象
建設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工事物件が大きく、材料代が以前より下がっている。</li> <li>・前年同期比売上増加。客先企業の設備投資が活発。</li> <li>・公共工事を受注した為、売り上げが15%程増加。</li> <li>・公共工事の増加で元請の売上が増加した。</li> </ul>
不動産	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕入、販売順調で今期は伸びる。</li> </ul>
運輸・通信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・京都の建設工事現場への部材の運送が集中的にあり、自社便、利用便ともフル稼働。予算、予想より7%、12%売上が向上した。</li> </ul>
卸売	<ul style="list-style-type: none"> <li>・お客様が勝ち組になった。</li> </ul>
小売	<ul style="list-style-type: none"> <li>・省エネ・マイホーム発電が認知され、エネファームの売上が60%増加した。</li> <li>・現時点での受注状況。</li> </ul>
サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・物件の増加。新規に開拓した物件の決定及びこれからの新規物件の決定が見込める予定。</li> <li>・公共事業予算執行状況、公共事業補正予算の編成。</li> </ul>
その他の非製造業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・減収だが、利益率の改善により、増益となっている。</li> </ul>

「悪い」 (かなり悪い+やや悪い)

業種	事象
建設	<ul style="list-style-type: none"> <li>・公共工事の発注なし、ハウスメーカーの発注が不安定。</li> <li>・公共関係の受注の減少。</li> <li>・企業の設備投資の下落。</li> <li>・工事収入の減少。</li> <li>・売上25%減少した。</li> </ul>
卸売	<ul style="list-style-type: none"> <li>・損保制度の改正により、ガラス交換をせざりペア処理で済ますお客様が引き続き増加している。その為、売上が減少している。</li> <li>・不況、人材不良（優秀な人材）。</li> <li>・消費者ニーズの変化（減少）による。</li> <li>・円高の影響で大手ユーザーが減収となり我々納入業者の売上も減少していると思われる。</li> <li>・主力製品において熟処理問題の未解決および世界的原油安（やや上向きであるが）における石油関連製品の出荷の減少。</li> <li>・市場の衣料品不振の影響により納入の遅れや、減少により、昨対93%の売上になっているが回復の見込みは今のところない。</li> <li>・業務店（飲食店、レストラン、ホテル等）の売上が不振で当初からの納品も減少している。</li> </ul>
小売	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今までのお客様がご高齢で免許証を返納して車を乗られなくなり仕事が減ってきたため。</li> <li>・ディーラーでは車が売れているようだが、個人販売店ではチラシも出していないし、顧客の乗り換えのみ。</li> <li>・主に市場環境の急激な変化と顧客ニーズの低迷が影響し、およそ2%の売上が減少した。</li> </ul>
運輸・通信	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人員確保に要する費用が増加しつつあるが、売上単価の上昇は見込めない。仕事はあっても利益確保が困難になりつつある。</li> </ul>
サービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前年は地方創生のふるさと割があり、来客数が増加したが、今年は需要もなく、反動が出ている。</li> <li>・節約とエコ車のため、ガソリン消費が減少。</li> </ul>
その他の非製造業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・売上・利益減少。</li> </ul>

2. DI回答一覧(業種別)

項目	業況判断DI				売上				仕入価格				販売価格			
	前回		今回		前回		今回		前回		今回		前回		今回	
	16年	16年	16年	17年	16年	16年	16年	17年	16年	16年	16年	17年	16年	16年	16年	17年
調査時期	7-9	10-12	10-12	1-3	7-9	10-12	10-12	1-3	7-9	10-12	10-12	1-3	7-9	10-12	10-12	1-3
現在/3カ月後の見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し
<b>全体</b>	<b>-15</b>	<b>-13</b>	<b>-13</b>	<b>-12</b>	<b>-13</b>	<b>-14</b>	<b>-13</b>	<b>-13</b>	<b>2</b>	<b>5</b>	<b>5</b>	<b>12</b>	<b>-8</b>	<b>-7</b>	<b>-8</b>	<b>-7</b>
<b>製造業</b>	<b>-18</b>	<b>-10</b>	<b>-9</b>	<b>-5</b>	<b>-11</b>	<b>-16</b>	<b>-13</b>	<b>-11</b>	<b>-5</b>	<b>2</b>	<b>0</b>	<b>10</b>	<b>-10</b>	<b>-8</b>	<b>-11</b>	<b>-8</b>
繊維	-30	-31	-35	-15	-9	35	-20	-10	-9	-13	10	10	-4	-17	0	0
木材・木製品	-46	-9	-29	-14	-36	36	0	0	0	18	0	-14	-9	-18	0	-14
紙・パルプ	-17	33	40	20	17	17	20	0	0	0	-20	0	-17	-33	-20	-20
化学	-11	-11	27	9	-33	33	-18	-27	-33	0	-18	18	-33	-11	-18	0
石油・石炭	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
窯業・土石	-10	-30	25	25	-20	50	25	25	0	0	0	0	-20	0	0	0
鉄鋼	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
非鉄金属	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
食料品	-40	0	-42	-17	-27	40	-42	-17	7	0	25	17	0	0	-8	-17
金属製品	-17	-17	13	-20	-11	56	13	-20	-17	-6	-19	13	-11	-6	-13	-6
一般機械	-36	-7	-13	6	-50	21	-31	-19	0	0	6	-6	-21	-7	-19	-19
電気機械	21	0	0	-9	22	29	9	9	7	14	0	0	-7	0	-18	-18
輸送用機械	-63	-75	-14	0	-25	50	-43	0	-13	0	0	14	-25	-38	-14	-14
精密機械	-100	-50	-25	-75	-75	75	-25	-50	0	0	0	0	-25	0	0	0
その他の製造業	19	14	-3	0	19	32	-3	-10	-3	8	10	20	0	0	-10	-6
<b>非製造業</b>	<b>-13</b>	<b>-15</b>	<b>-16</b>	<b>-18</b>	<b>-14</b>	<b>-13</b>	<b>-14</b>	<b>-15</b>	<b>8</b>	<b>7</b>	<b>10</b>	<b>13</b>	<b>-7</b>	<b>-6</b>	<b>-2</b>	<b>-5</b>
建設	-14	-13	0	-6	-12	29	10	-13	4	5	0	3	-10	-11	-8	-10
不動産	8	9	-7	-33	8	17	-20	-20	40	33	23	31	0	18	15	-8
卸売	-21	-27	-53	-45	-38	39	-44	-32	8	6	11	11	-16	-11	8	-8
小売	-29	-38	-29	-33	-21	39	-33	-14	9	5	19	24	-2	-9	-5	5
運輸・通信	-19	-6	0	25	-6	19	17	17	0	7	30	50	7	0	11	11
電気・ガス	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
サービス	5	3	-3	-10	-8	26	-10	-7	9	12	12	12	-6	-3	-10	-4
リース	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
その他の非製造業	17	17	-40	-20	50	17	-80	-40	0	0	0	0	0	17	0	0

項目	経常利益				製・商品の在庫				生産・営業用設備				雇用人員			
	前回		今回		前回		今回		前回		今回		前回		今回	
	16年	16年	16年	17年	16年	16年	16年	17年	16年	16年	16年	17年	16年	16年	16年	17年
調査時期	7-9	10-12	10-12	1-3	7-9	10-12	10-12	1-3	7-9	10-12	10-12	1-3	7-9	10-12	10-12	1-3
現在/3カ月後の見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し	現在	見通し
<b>全体</b>	<b>-14</b>	<b>-14</b>	<b>-10</b>	<b>-12</b>	<b>7</b>	<b>5</b>	<b>10</b>	<b>8</b>	<b>-3</b>	<b>-5</b>	<b>-3</b>	<b>-3</b>	<b>-21</b>	<b>-22</b>	<b>-22</b>	<b>-22</b>
<b>製造業</b>	<b>-17</b>	<b>-14</b>	<b>-4</b>	<b>-8</b>	<b>13</b>	<b>8</b>	<b>14</b>	<b>6</b>	<b>-2</b>	<b>-5</b>	<b>-1</b>	<b>0</b>	<b>-9</b>	<b>-13</b>	<b>-15</b>	<b>-15</b>
繊維	-13	-4	-20	0	13	13	15	15	4	4	15	10	-26	-13	-25	-25
木材・木製品	-55	-27	0	0	-9	-9	14	14	9	9	0	0	0	-9	-29	-14
紙・パルプ	17	33	100	80	17	17	60	60	17	-17	-20	0	-17	-17	-40	0
化学	-45	-22	-9	-36	11	0	0	-9	22	11	0	0	11	-13	0	0
石油・石炭	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
窯業・土石	20	10	25	25	10	20	-25	-25	-20	-30	-25	-25	10	-10	0	-25
鉄鋼	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
非鉄金属	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
食料品	-13	7	8	8	7	-13	0	-8	-7	-13	-8	0	-33	-60	-8	-8
金属製品	-11	-33	6	-20	12	6	13	7	11	11	6	13	-6	-6	-38	-25
一般機械	-43	-14	0	-13	14	14	6	-6	0	7	-6	-6	21	0	-6	0
電気機械	-14	-29	-18	-9	7	7	0	-9	-7	-14	-9	9	-7	0	-27	-9
輸送用機械	-25	-38	-14	-14	13	13	0	14	-13	-13	-29	-43	-13	0	-29	-57
精密機械	-75	-75	-25	-50	0	25	25	25	0	0	-25	-25	0	0	-50	-75
その他の製造業	-3	-5	-13	-16	24	11	28	14	-11	-14	10	6	-19	-16	3	-10
<b>非製造業</b>	<b>-11</b>	<b>-14</b>	<b>-16</b>	<b>-15</b>	<b>1</b>	<b>2</b>	<b>8</b>	<b>9</b>	<b>-4</b>	<b>-4</b>	<b>-5</b>	<b>-6</b>	<b>-30</b>	<b>-29</b>	<b>-28</b>	<b>-28</b>
建設	-18	-18	2	-16	-2	-3	-4	-2	0	-4	-5	-7	-36	-34	-34	-32
不動産	0	25	-20	-7	0	0	-14	-7	-18	-20	0	0	0	-9	-14	-21
卸売	-22	-25	-33	-28	14	17	20	17	0	3	0	-6	0	0	-8	-6
小売	-14	-30	-38	-19	0	5	33	33	-7	-5	-10	-10	-41	-41	-43	-43
運輸・通信	6	0	-17	8	-8	-8	-13	-13	7	7	0	0	-31	-38	-18	-36
電気・ガス	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
サービス	5	5	-7	-7	-3	-3	8	15	-14	-11	-15	-11	-45	-40	-38	-35
リース	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X	X
その他の非製造業	-17	-33	-40	-20	17	17	25	25	0	0	0	0	-33	-17	-20	-20

※回答数が1項目でも3社以下の業種はすべての項目を非表示(Xと表示)